

会 議 録

会 議 名	令和7年度第3回東松山市文化財専門調査員会議					
開 催 日 時	令和8年2月16日（月）	開 会	13時30分			
		閉 会	15時30分			
開 催 場 所	東松山市総合会館3階 302会議室					
会 議 次 第	1. 開会 2. あいさつ 3. 議題 (1) 令和7年度事業報告について (2) 令和7年度指定文化財パトロール報告について (3) 令和8年度事業計画（案）について 4. 報告 5. その他 6. 閉会					
公開・非公開の別	公開	傍 聴 者 数	0人			
非公開の理由 （非公開の場合）						
委員出欠状況	議長	榎本 榮一	出席	調査員	原田 吉樹	出席
	調査員	新井 裕子	出席	調査員	坂野 千登勢	出席
	調査員	榎本 直樹	出席	調査員	横山 晋一	出席
	調査員	中澤 利雄	出席			
事 務 局	田嶋 靖洋 生涯学習部長			佐藤 幸恵 埋蔵文化財センター主幹		
	田島 信子 生涯学習部次長			矢口 翔馬 埋蔵文化財センター主査		
	上 敏文 生涯学習課長					
	左納 徹 埋蔵文化財センター所長					

次 第	顛 末
1.開 会	左納所長
2.あいさつ	榎本榮一議長
会議の公開、会議録署名委員の指名	<p>○会議の公開、傍聴人、会議録署名委員の指名について (左納所長) 会議を公開とするか非公開とするか、傍聴人の申込みがなかったこと、会議録の署名委員を指名することについて、説明。</p> <p>・会議については公開、傍聴人は申込がなかった、会議録署名委員は横山調査員と原田調査員を指名することについて、全員了承。</p>
3.議 題	<p>(1) 令和7年度事業報告について 〈矢口主査〉説明。 質疑応答なし。</p> <p>(2) 令和7年度指定文化財パトロール報告について 〈新井調査員〉パトロールが昨日で終わったが、全て安全に保管されていた。1月1日大雷神社に行った(元日は元旦祭で拝殿が開けられて、『大雷神社の絵馬』を見ることができるため)ところ、絵馬自体に問題はないが、解説板が苔で汚れていた。 〈坂野調査員〉パトロールで雷電山古墳に行った際に、解説板は拭いておいた。</p> <p>〈榎本榮一議長〉『千手観音立像』は、修理(平成22・23年)してから年数が経ったので、古色仕上げした修理箇所が褪色し、修理箇所が分かるようになってきた。古色仕上げの宿命なので、仕方がないと言える。『二十八部衆像』は、彩色が剥落し、手首が入れ替わったりしている。像は寄木造りであるが、各像の構造自身はかなり劣化し、分離している部分もあり、一日も早い修理が望まれる。ただ、修理にあたっては所有者・管理者の負担があり、所有者に資金がないといつまで経っても修理ができず、朽ち果てるのを待つしかないという現状がある。今後、新たに指定する場合、所有者に財力があるかないかで、指定できるかできないかになるのではないかと。財力がない場合、指定はしても保存ができないということがありえるので、これはなんとかしていただければと思う。『算額』は、以前から虫食いが全体的に見られたが、年々褪色で見えづらくなり、特に額の中央辺りが見えなくなった。隙間から外光が当たっていたので、向きを変えて、外</p>

光が当たらないようにしてもらった。これも何とかしないと年々見えなくなっていくと思う。何らかの手をうっていただけたらと思う。

〈榎本直樹調査員〉野田獅子舞は10月に9年ぶりに復活し、11月の民俗芸能祭にも出演できた。問題なのはこれからで、新しく入ってくれた高校生が今後も活動してくれるかどうか、重点的に確認していきたい。

〈中澤調査員〉前回の会議で報告済である。

〈原田専門調査員〉『観音下の清水』7月には問題なかったが、1月末に見に行ったら、水位がさがってほぼ水が枯れた状態になっていた。武蔵野礫層から湧いており、露頭の下部から水がしみだしているが溜まっていない。底に土砂や落ち葉が堆積しているので、それをさらわないと枯れてしまうと思う。その他、板碑は変化なし。

〈坂野調査員〉雷電山古墳の復旧した部分は問題なし。後円部に焚火の後があり、12月に行ったときより1月30日に行った時の方が穴が深くなっているような気がする。焚火をしている時に行っていないので、実際の深さは分からない。これ以上掘らないよう、所有者に話をしてもらいたい。おくま山古墳は、1月に行った時は後円部の中段に径1mくらいのキツネの巣穴があったが、2月の草刈り後はふさがっていたので、草刈りをした時に埋めてくれたのか。ただ、畑には獣の足跡があり、近所の人から、古墳周辺からやや離れたところでキツネの親子を見たと教えてもらった。アライグマもいるようである。注意をしなければいけない。おくま山古墳を見に行った際、円筒埴輪片と馬鈴状の埴輪を採集した（埋文センターに届けてある）。盾持人以外にも形象埴輪がある可能性が高い。『野本館跡』は1月の終わりに行ったら、土塁の周辺の竹がきれいに刈ってあり、東側のキツネの巣穴周辺には足跡があった。きれいになるとキツネが来るという悪循環がある。推移を見守りたい。『八幡神社前庚申塔』は、1月に野焼きの火が延焼したが文化財そのものと解説板に影響がなかったとの連絡を事務局よりもらい、改めて確認に行ったが、特に被害がなかった。ただ、今後もこのようなことがあるかもと感じた。

〈横山調査員〉『八雲神社の社殿』覆屋は直ったが、社殿の彫刻が脆弱になっていて外れかけている。万が一、落ちそうになったら、外して、保管しておいてくれればよいと思う。『菅沼氏一族の墓』は草が

生えている。『正法寺の鐘楼』は差し茅をしなければならない時期に来ている。茅（ススキ、チガヤ、ヨシ、スゲなど、屋根の葺き替えに使用されるイネ科の植物の総称）のセレクトをして、しっかりした茅をもってこないと傷みが激しくなる。ススキではなくヨシだと鳥が引き抜いてもっていかない。『箭弓稲荷神社手水舎』はむくり屋根なので、板が元に戻ろうとして浮いてきた。柿葺きは20～25年で葺き替えが必要となり、費用もかかることなので、メンテナンスの検討をしてほしいと神社に話してほしい。

～パトロール報告を受けて～

新井調査員

〈矢口主査〉大雷神社の絵馬の解説板の掃除をありがとうございます。来年度は、12月中に事務局で掃除をしに行く。

榎本榮一議長

〈矢口主査〉二十八部衆像は埃を被っている状況もあるので出して掃除をした方が良いのか。

〈榎本榮一議長〉昔は布を被せていた時期もあるが、現在はないので、直に埃を被っている。

〈矢口主査〉修理は所有者負担があり、予算化もしなければならないので、早急には難しい。せめて事務局で手伝えることがあれば行いたい。

〈榎本榮一議長〉虫も全体的についており、虫食いが進行しているかどうか、専門家に見てもらおうというのも必要だと思う。羽箒で払うくらいだったら、大丈夫だと思う。

〈矢口主査〉すぐにというわけにもいかないが、二十八部衆像と算額は状態を確認させてもらって、事務局で掃除をさせてもらう。

〈榎本榮一議長〉今、算額は外陣にあり隙間からの日があたっているが、内陣は日が当たらないので、せめて内陣に移してもらいたい。

〈矢口主査〉移動させるにしてもご住職一人では難しいので、事務局が手伝うから、とご住職と相談してみる。繰り返しになるが、修繕となると費用的な問題も出てくるので、まず、状態を確認し、修繕に向かって動き出してほしい旨アプローチをしたい。

〈榎本榮一議長〉仏像はほとんど彩色が残っておらず、彩色のための下地の状態で残っている。江戸期の彩色は刺激を与えると落ちる。

〈矢口主査〉そうだとすると、事務局の掃除は難しいということにな

らないか。

〈榎本榮一議長〉彩色の復元は極めて難しい。仁和寺の二十八部衆像は江戸時代に作製されたもので、綺麗に彩色が残っており、復元するときに参考になる。

〈矢口主査〉それは復元修理をする時に考えなければいけないことになる。

〈榎本榮一議長〉修理には、全て解体・組立修理が必要となる。像の手首が落ちて補修した際、入れ替わったりしている。欠落した場合はセメダインで接着せず、そのまま取っておいてほしいとお願いはしている。

〈矢口主査〉いずれにしても、世明寿寺と話をしてくる。

原田調査員

〈矢口主査〉観音下の清水については、底をさらう作業を行われなければならないと思う。シルバー人材センターにも依頼はしているし、十数年前、事務局でさらったことはある。やるにしても水位の低い冬にやるしかないなので、夏の水位を見てみて、来年の冬実施してみようと思う。

〈原田調査員〉今後も気を付けて様子を見ておく。

坂野調査員

〈矢口主査〉大雷神社の焚火の跡について、以前にも宮司に注意したが、改めてもう一度行く。キツネの巣穴については、穴を埋めると別の場所に穴を掘られるので、どうしようもない。おくま山の件は地元の方が埋め戻してくれたのだと思う。抜本的な解決は難しい。

〈坂野調査員〉キツネの生態はよくわからないので、変化をお伝えするしかないなので、気をつけて状況を見ておく。

横山調査員

〈矢口主査〉差し茅はお金のかかることなので、前もって言っておいた方がよいのか。

〈横山調査員〉正法寺にしろ、箭弓神社にしろ、お金がかかることなので、前もって準備をすることは重要なことなので、伝えておくのはよいことだと思う。

〈矢口主査〉声掛けをしておく。

	<p>(3) 令和8年度事業計画(案)について</p> <p>〈矢口主査〉説明。</p> <p>〈中澤調査員〉ミツガシワの件について、保護委員・専門調査員に実際見てもらうのがよいかなと思っている。花が咲くのは4月なので、(年度変わりで厳しいかもしれないが)そういう機会を検討してもらいたい。また、先の話になるかもしれないが、指定文化財になっているカタクリなど植物に興味をもっている方もたくさんいらっしゃると思うので、説明はするので、一般の市民の方を対象に見学会を開催してもらいたい。</p> <p>〈横山調査員〉世明寿寺の千手観音立像は足元が宮殿から突き抜けて床下に入っているが、あまりこういう例を聞いたことがない。解説板に書いた方がよいかもしれない。</p> <p>〈榎本榮一議長〉観音様は補陀落(観音菩薩の降り立つとされる伝説上の山)の岩の上にいらっしゃるという考え方からなのだろうか。石山寺(滋賀県大津市)の観音様も岩座にいらっしゃる。古い仏像では、観音様は岩の上に立っている。奈良(桜井市)の長谷寺の観音様も岩の上(大磐石)に立っていると思う。</p> <p>〈矢口主査〉解説板は限られた板面で、さらに世明寿寺には文化財が3点あるので全て記載することが難しい。最近、解説板には概説を記載し、二次元コードから、詳しい説明を記載している市のホームページにアクセスできるようにしている。どちらにしても、調査員の皆様にはご専門の原稿をみていただきたい。ミツガシワの件は、時期の問題があるので検討させていただきたい。</p> <p>〈中澤調査員〉事務局のご都合のよい時に、よろしく願います。</p> <p>〈矢口主査〉指定するにあたっては、もちろん委員・調査員の皆様には見てもらわなくてはと考えている。また、一般の人にも見てもらって周知した先に指定があると思っている。説明・指定の際は、中澤先生にご協力願います。</p> <p>〈榎本直樹調査員〉事務局は、「〇〇先生がこういうことを企画しています」という周知をするだけで良いと思う。</p> <p>〈矢口主査〉皆様のお力添えをいただきながら、できることを検討していきたい。</p>
4.報告	令和7年第4回(12月)市議会一般質問について

5.その他	東松山市指定文化財「あららぎ」について
あいさつ	田嶋生涯学習部長
6.閉会	左納所長
上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。	
令和8年3月10日	署名委員 <u>横山 晋一</u>
	署名委員 <u>原田 吉樹</u>